



地域コミュニティの醸成・学び・集える場所に



▲高丘保育所の5歳児さん



▲坂さん



▲まっすぐ見つめる子どもたちの瞳



▲黒田さん

9/13(水)午前、高丘保育所の5歳児の子どもたちが先生に引率されて、ブックスポットと展示コーナーMiTeTTe TAKAOAKAを見学に来てくれました。

昨年11月にオープンしたスポットですが、こんな形で子どもたちが訪れてくれたのは初めてで何だかうれしかったなあ～。

当初から「本や展示作品」を通じて様々な年代の人たちが集い、学びのきっかけをつかみ、深め、広げていけたらいいなと考えていました。

その日、「ふれあい会食」の方たちが学習室で「落語会」の準備。担当の坂さんと黒田さんから子どもたちに「読み聞かせしようか？」と声をかけていただき、即席の「読み聞かせ会」がスタート。

坂さんが『ぎょうれつ ぎょうれつ』（マリサビーナ・ルツソ絵と文 青木久子訳）、黒田さんが『じゃんけん』（むらいきくこ作・絵）を楽しく、表情豊かに読まれました。

「ぎょうれつには何があるかな？」と坂さん。

「つみき、くつ、本…」と子どもたち。「さあ、みんなもじゃんけんしよう！さいしよはグー」

「さいしよはグー」子どもたちの大きな声が響きます。

子どもたちも大喜びの時間になりました。お母さんに抱っこされた3歳のお子さんうれしそう。

日ごろからこんな光景が広がればと思います。少しずつですね。

集

シユウ、あつまる、つどう
たくさんの鳥が木の上にとまっている形にかたどり、木の上にたくさん鳥がいる意味を表す。ひいてあつまるの意味に用いる。

■地域コミュニティの醸成とは何ぞや？

「醸」という文字には、酒つばに原料をしこんで酒をかますの意味があります。当然時間のかかるものですね。

そこからある雰囲気や状態をつくり出すことを意味するのですが、こちらも一朝一夕にできあがるものではありません。

高丘地区が開発され、コミセンが開設されてもうすぐ50年を迎えようとしています。その間、長い時間をかけて高丘の地域コミュニティが醸成されてきたということです。

これからの5年、10年、50年、そしてその先に住むであろう世代に何を残していけばいいのでしょうか。(N)

■高丘クラブ 予選敗退

奈良県で開催されたママさんバレー全国大会は惜しくも予選敗退
親善試合 2勝
上位決定戦 1勝1敗



■ブックスポット高丘
登録者数

78 名

■ブックスポット高丘
本の貸出件数

342 件

■ブックスポット高丘
蔵書数(ほとんど寄贈本です)

570 冊

※9/15現在